様式第１１号（第９条関係）

チェックリスト

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 設置者 | 住　所 |  | | | |
| 氏　名 |  | | | |
| 設置場所 | | 廿日市市 | | | |
| 型式、処理対象人員 | | 型 人槽 | | | |
| 浄化槽  工事業者 | 住　所 |  | | | |
| 名　称 |  | | | |
| 代表者 | ㊞ | | | |
| 工事完了日 | | 年 　 月 　 日 | | | |
| 検 　査 　項 　目 | | | チェックのポイント | 適 | 否 |
| １ 流入管きょ及び放流管き  ょの勾配 | | | 汚物や汚水の停滞がないか。 |  |  |
| ２ 放流先の状況 | | | 放流口と放流水路の水位差が適切に  　保たれ、逆流のおそれはないか。 |  |  |
| ３ 誤接合等の有無 | | | 生活排水が全て接続されているか。 |  |  |
| 雨水や工場廃水等が流入していないか。 |  |  |
| ４ 升の位置及び種類 | | | 起点、屈曲点、合流点及び一定間隔  　ごとに適切な升が設置されているか。 |  |  |
| ５ 流入管きょ、放流管きょ  及び空気配管の変形、破  　 損のおそれ | | | 管の露出等により変形、破損のおそ  　れはないか。 |  |  |
| ６ かさ上げの状況 | | | バルブの操作などの維持管理を容易  　に行うことができるか。 |  |  |
| ７ 浄化槽本体の上部及びそ  　の周辺の状況 | | | 保守点検、清掃を行いにくい場所に  　設置されていないか。 |  |  |
| 保守点検、清掃の支障となるものが  　置かれていないか。 |  |  |
| コンクリートスラブが打たれているか。 |  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 検　 査　 項　 目 | チェックのポイント | 適 | 否 |
| ８ 漏水の有無 | 漏水が生じていないか。 |  |  |
| ９ 浄化槽本体の水平の状況 | 水平が保たれているか。 |  |  |
| １０ 接触材等の変形、破損、  固定の状況 | 嫌気ろ床槽のろ材及び接触ばっ気槽  　の接触材に変形や破損はないか。 |  |  |
| しっかり固定されているか。 |  |  |
| １１ ばっ気装置、逆洗装置及  　 び汚泥移送装置の変形、  破損、固定及び稼働の状況 | 各装置に変形や破損はないか。 |  |  |
| しっかり固定されているか。 |  |  |
| 空気の出方や水流に片寄りはないか。 |  |  |
| １２ 消毒設備の変形、破損、  　 固定の状況 | 消毒設備に変形や破損はないか。 |  |  |
| しっかり固定されているか。 |  |  |
| 薬剤筒は傾いていないか。 |  |  |
| １３ ポンプ設備（流入ポンプ  　 及び放流ポンプ）の設置、  　 稼動状況 | ポンプますに変形や破損はないか。 |  |  |
| ポンプますに漏水のおそれはないか。 |  |  |
| ポンプが２台以上設置されているか。 |  |  |
| 設計どおりの能力のポンプが設置さ  　れているか。 |  |  |
| ポンプの固定が十分行われているか。 |  |  |
| ポンプの取りはずしが可能か。 |  |  |
| ポンプの位置や配管がレベルスイッチ  　の稼働を妨げるおそれはないか。 |  |  |
| １４ ブロアーの設置、稼動状  　 況 | 防振対策がなされているか。 |  |  |
| 固定が十分行われているか。 |  |  |
| アースはなされているか。 |  |  |
| 漏電のおそれはないか。 |  |  |
| 上記のとおり確認したことを証します。  　　　　　 　 年 　 月 　 日  　　　　　　　　　　担当浄化槽設備士氏名　　　　　　　　　　　　　　　　 ㊞  （浄化槽設備士県登録番号　　　　　　　　　　　） | | | |

注　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ列４番とする。